



令和4年度

## 昭島市立拝島第一小学校 保護者会資料

校長 鵜川 雅行

### 【拝島第一小学校 教育目標】

- やさしく（徳） 【正しい判断力、思考力、表現力を身に付け、仲間を大切にする児童】
- つよく（体） 【心と体をきたえ、健康で明るく、自己管理のできる児童】
- よく考え（知） 【自ら課題を見付け、意欲的に学び、主体的に活動・行動できる児童】
- 手をつなぐ拝島の子供 【相手の立場を理解し、互いに認め、助け合うことのできる社会性豊かな児童】

### 1 学校経営の基本的な考え方

- (1) 子供が安心・安全に過ごし、心を育て、可能性を引き出す
- (2) 6年間の学校生活で、未来に夢や希望をもてる子供を育てる
  - 自ら課題を見付け、仲間と切磋琢磨して解決する学習の提供
  - 一人一人の居場所、活躍の場の提供（子供に寄り添う）
  - 一人一人のよさを引き出す「個に応じた指導」の充実
  - 本物体験・自然体験・仲間体験などの体験活動の提供
- (3) 主体的で、自律した人間を育てる（知性と理性を兼ね備える）
  - 諦めない心と、継続する強い意志（目標・粘り強さ・達成感）
  - チャレンジする心、自らをふりかえる力（意欲・自己理解）
  - 自分は役に立っている実感、物事を前向きに捉えられる心（自己肯定感）
  - 異なるものの存在を認め、互いに尊重しようとする心（他者理解・グローバル化）
  - 豊かな学校生活を生み出すためのルールやマナー・エチケットを大切にする心（規範意識・協働の基礎）
  - 成長し続けようとする心（真実の追究・人間の生き方）
  - 互いに学び合い、高め合い、よりよいものを見付け出す意欲（共生社会）

### 2 めざす学校像

- (1) 「生き生きと学び、達成感を味わえる学校」（子供）
  - 基本的人権が守られ安心して学ぶことができる。（いじめは絶対許さない!）
  - 個に応じた指導・支援ができる。（特別支援教育の充実）
  - 授業が充実し、生涯学習の基盤を身に付けることができる。
- (2) 「安心して子供を預けられる信頼できる学校」（保護者・地域）
  - 自ら学ぶことのできる授業を実践し、知・徳・体の基礎基本が定着できる。
  - 安全で清潔な環境の中で生活できる。
  - 家庭や地域社会と相互理解・相互協力できる。
- (3) 「働きがいのある学校」（教職員）
  - 温かい人間関係をつくり、全教職員が明るく生き生きと仕事ができる。
  - 互いに認め合い、支え合い、協力しながら組織的に教育活動を展開できる。
  - 教育活動の充実のために指導力を研ぎ、教職員個々の専門性を発揮できる。
- (4) 「チーム&ファミリー拝一」（支え合う人とのつながり）
  - 学校とかかわる全ての人々が、個性やもち味を発揮して指導・支援を行う。
  - 「子供のために」の思いを共有できる教職員・保護者・地域の輪を広げる。
  - 心理や福祉等の専門性の高い関係機関との連携を深める。

### 3 めざす教師像・組織像

- ◎ 子供の成長のために、全力を尽くす教師
- ◎ 子供の個性や主体性を引き出す指導力・授業力をもった教師
- ◎ 子供の手本となる姿を見せられる教師
- ◎ 子供の安全・安心を守ることのできる教師
- ◎ 教育公務員としての自覚（服務に対する理解と高い意識）をもった教師
- ☆ 子供が主役となる活動をめざし、保護者・地域と共にあゆむ学校組織

## 【教職員との確認事項】

### 1 子供たちが安心して学び、生活できる環境づくり

- (1) いじめ、差別、偏見は決して許さないという指導を徹底する。
- (2) 互いに話し合い、聞き合い、認め合う指導を徹底する。
- (3) 個に応じた教育・特別支援教育の充実を図る。

### 2 学ぶ楽しさを実感できる環境づくり

- (1) 全ての活動の基盤は健康な心と体である。
- (2) 教師自身が日々の指導力の向上に努めること。
  - 新学習指導要領に示される新しい「学び」に積極的にチャレンジする。
  - マイキャリアノートを活用するとともに、東京都教職員研修センター等の主催する各種研修へ積極的に参加する。

### 3 子供が納得する生活指導と規律ある生活づくり

- (1) 学校のやくそくを基盤に教員が一貫した指導体制を行い、学校全体でぶれないようにする。
- (2) いじめは根絶するが、トラブルは起こって当然である。トラブルを基に学び成長する。
- (3) 児童理解をしっかりと行い、法令上と社会通念上のいじめをしっかりと把握して解決に努める。
- (4) 事実を大切にして憶測で判断しないこと。事実を丁寧に把握する。

### 4 子供が学ぶ場としての環境づくり

- (1) 子供は動きが活発である。行動を想定することが危険回避につながる。
- (2) 危険を予知するために、確実な安全点検（学校内、敷地内、通学路等）や、防犯対策を行って児童や教職員の安全を保障する。

### 5 保護者・地域との連携づくり

- (1) 学校・家庭・地域が、それぞれも役割を分担・協力し、子供の教育に責任をもつ。
- (2) 地域の伝統や文化、特色を大切にし、PTA や地域の行事には積極的に関わる。

### 6 拝島第一小学校の教職員として

- (1) 教職員は、一人一人が教育公務員としての自覚をもち、責任をもって仕事をする。学校は、常に説明責任と結果責任が問われている。
- (2) 教職員は、最大の教育環境であることを自覚する。服装（出・退勤時、勤務中）、言葉遣い、言動等、子供・保護者・地域みんなが注目している。
- (3) 服務事故の防止は学校の抱える大きな問題であることを自覚する。服務事故は学校の信頼を一気に失い、その回復には多くの時間と労力が必要となる。

### 7 教職員が健康であるために

- (1) オーバーワークにならないように、「見通し」「段取り」をしっかりとつよようにする。
- (2) 学年で共有できるところは、できるだけ共有して準備を行うようにする。
- (3) 最終退勤が午後8時を過ぎないようにする。
- (4) 水曜日は、定時退勤日とする。
- (5) 快適な職場づくりのために、全教職員が協力する。（共同実践）

★ 本年度も、コロナウイルス感染症防止の対応がどのようになるか分かりません。予定通りの教育活動をすすめられない場合もございます。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。